

# 「だいすきなおかあさん」

石丸 雅月希 (いしまる みつき) 3歳

善通寺幼稚園 (安芸教区)

みつきさんは、「おかあさんの目はふたつあって……、鼻があって……」と確かめながら描くようにつぶやいていたそうです。きつと真っ白な画用紙には、大好きなお母さんの優しい満面の笑みが見えていたのでしょう。ただお母さんの顔を思い浮かべて再現しているわけではありません。そこには、お母さんの姿、所作、言葉、抱きしめてくれたときの暖かさなどのすべてが「おかあさんだいすき」という気持ちとともに表現されているのです。

はじめて絵の具を使って描く時、ともすれば絵の具遊びになり塗りたいくっつけてしまうこともあります。それはそれで良いのですが、「おかあさん」という最も身近で大切な人をテーマにすることで、感動的な快感よりも、思いを形にする意欲が勝ったのでしょうか。好きな色を一色選んで描くということで、自己決定から活動を始めるられたのも功を奏しています。パスでは全色を使うことを楽しみながら、さらに大好きな気持ちを伝えていきます。

## ●表紙のことば●



おお はし いさお  
大橋 功

和歌山信愛大学